



♡ 6 Q



いいね！: gachastagram.11、他
ikusaka_tattoko

1月11日、晴天に恵まれ最高のシチュエーションの中、創造の森にて 第6回「旅するいきもの大学校！」の最終回が開催されました。

まずは立教大学准教授の奇二先生、続いて生坂村村長からご挨拶をいただきました。今回の活動の意義や、可能性に満ちた生坂村の未来について語られました。

続いて行われた任命式では、村長から終了任命証と生坂村自然研究員の証明証が授与され、参加者たちの努力が称えられました。

その後、杵と臼を使った餅つきを行い、前回作成した巣箱の取り付け作業も実施されました。やまなみ荘に移動し、「みんなの成果が実った“2035年の生坂村”はどんな状態？！」というテーマをグループに分かれて考え、それぞれに未来のビジョンを発表していました。

そして参加者それぞれが生坂村への熱い思いを胸に、全6回の「旅するいきもの大学校！」は感動的に幕を閉じました。

#生坂村
#創造の森
#生物多様性
#ネイチャーポジティブ
#第2のふるさとづくりプロジェクト
#旅するいきもの大学校
#リジェネラティブツーリズム
#yamaga
#松本山雅

Instagramでは
その他投稿も
ご覧いただけますので、
是非フォロー
よろしくお願いします！

Instagram



WEB



INTERVIEW

「親子(服部家)」

Q1. 生坂村のどこが好き？

ありきたりですが、やはり自然が豊富で、空気がきれい。街の喧騒もなく静かに暮らせるところです。

Q2. 親から子へ、この村で未来に残したいものなどありますか？

子供たちや子孫へは、自然はもちろんですが、こういう所謂田舎で暮らすことの不便さを楽しめる心を持ち続けて、決してこの土地に縛り付けるわけではないですが、こういう場所が故郷だと胸を張って言えるようになっていけたらいいと思います。

Q3. 本事業に期待していることは？

現在の地球の気候変動や温暖化は明らかで、また化石燃料もいずれ尽きます。それはいま生きている私たちの代ではないかも知れませんが、遠い未来のことかも知れません。だからと言って何もせず成り行きに任せるのではなく、今ある先端技術を導入し本事業を進めていくことは人間として当たり前のことだと感じています。

EDITOR'S NOTE

編集後記

無事に「旅するいきもの大学校！」の全6回の行程が終了しました。生坂村公式自然研究員が42名誕生しました。参加者のご夫婦がプログラム終了後、村内を生物観察されました。「鴨だけでも12種、午前中に観察しただけでも53種もの生物を確認した。」と教えてくださいました。今年も多くの方と生坂の生物多様性の調査・観察を楽しみたいと思います。

星野 亜紀子
(ゼロカーボン事務局)

〔発行元〕生坂村 〔編集〕いくさかゼロカーボン事務局
〔電話〕050-3354-7715 〔メール〕info@green-ikusaka.org
〔住所〕生坂村5471-8(旧窪田商店) 〔平日〕9:00~17:00



TOPICS

○太陽光発電パネルを設置しています ○薪ストーブ導入体験談
○Instagram 旅するいきもの大学校！修了式 ○Interview 親子



太陽光発電パネルを設置しています

PPA事業として進めている太陽光発電設備の設置について、以下の高圧受電施設3か所をご紹介します。こちらの3施設のほかにも、低圧受電施設や民間施設などに、順次設置を進めております。

道の駅いくさかの郷

- ・太陽光パネル枚数 …… 100枚
- ・太陽光パネル最大出力… 43.500kW
- ・蓄電池容量 …… 48kWh



高齢者生活福祉センター

- ・太陽光パネル枚数 …… 230枚
- ・太陽光パネル最大出力… 100.050kW
- ・蓄電池容量 …… 61.4kWh



学校給食センター

- ・太陽光パネル枚数 …… 108枚
- ・太陽光パネル最大出力… 46.980kW
- ・蓄電池容量 …… 61.4kWh



PPA事業に関するお問い合わせ先は以下の通りです。一般家庭向けのご契約等につきましても随時受け付けております。

お問い合わせ先

〔契約に関すること〕

株式会社いくさかてらす

Tel 0263-69-2388

〔設置工事等に関すること〕

平林建設株式会社

Tel 0263-69-3121

〔脱炭素事業に関すること〕

いくさかゼロカーボン事務局

Tel 050-3354-7715

薪ストーブ導入体験談

服部 真司さん

地区：上生坂(上手)地区



家を新築するにあたり、田舎に住むなら絶対に薪ストーブを導入したいと考えていました。家の設計が始まったころ、この補助メニューのアナウンスがあり、とてもタイミング良く活用することができました。

実際に設置した時には、すでに寒くなってきていた為、入居後すぐに使い始めましたが、最初はうまく温度が上昇しないなど戸惑いもありました。何日か使っていくうちに慣れるもので、今では失敗することもあります。何よりも薪ストーブを焚いた翌朝の室温が16℃～17℃ほどあることで、朝もすんなり起きられるようになりました。

令和6年度 省エネ機器等補助 R7.1.20時点

1月末で今年度分の受付は終了します。今年度の申請実績は以下の通りです。

- ・空調機器 …… 22台
- ・LED照明 …… 75個
- ・給湯器 …… 13台
- ・木質バイオマスストーブ …… 8台

令和7年度の受付開始につきましては、3月号に掲載する予定です